◇平園地域の道路の件
◇児童公園の管理
◇西原幼稚園の遊具

前里光信　議員

問 平園地域で道路が狭く、あるいは道路がなくて、住宅建設が問題になっていることについて、地域の住民から苦言や相談もあると思いますが、担当課は今後の取り組みについて、どのように考えているかと、県とどのような話しあいがなされているか、お聞きします。

建設部長 平園地域の道路整備についてお答え致します。児童公園東側の進入路については、これまでも、いろいろなルートで車輌の進入できるアクセス道路の検討を行ってまいりましたが、地権者の同意が得られず今日に至っております。また住宅建設の許可等についてきましては、現在県中部土木事務所と協議の真最中となっております。町としましても緊急時における救急車、消防車等の通行や地域の防災上の観点から、また公園の利便性からも今年度公園の西側で予定しております道路整備とは別に公園東側にアクセスできる道路を今後も継続して検討して参りたいと考えています。

問 各地の児童公園が不良のたまり場になりつつある。例えば浜田ハイツの下の公園は道路からは何も見えない。中で何が起きているかわからない。全学校と相談し計画的に配置していきたいと思います。

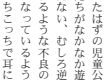
遊具イメージ（西原南幼稚園）

教育部長 小学校の運動場の周辺に小学校低学年と幼稚園生が共有出来る遊具を設置する事は可能であると思います。

問 西原幼稚園の遊具が非常に少ない。あのスペースは確かに狭いのですが、なぜ幼稚園だけ遊具が少ないのか。限界があるのは理解できるが、それなら西原小学校の遊具整備と言うことで共有できると思いますが、例えば幼稚園にふさわしい遊具を小学生にも共通した形で可能かどうかお聞きします。

教育部長 小学校と幼稚園の遊具は、共有出来る遊具を施設であったはずの児童公園が子供たちがなかなか遊んでもらえない、むしろ逆に指摘されるような不良のたまり場になっているような声があ。ちょっこっちで耳にしました。もう一度ここに立ちどまって総点検をやってみたいと思います。

◇下水道接続に助成措置を!!
◇認知症対策にどう取り組むのか



有田　力　議員

問 平成23年度末及び直近時における下水道整備率・接続可能世帯数・接続世帯数・接続数値は、

建設部長 下水道整備率34・9％、接続可能世帯数3、513世帯、接続世帯数1、579世帯、接続率44・9％、次に直近時における数値は下水道整備率が36・3％、接続可能世帯数は3、754世帯、接続世帯数は1、605世帯、接続率は42・8％となっております。

問 下水道整備率の伸びに比べて接続世帯数が低い。町当局の懸命な接続推進の取り組みにも拘らず、思うような結果がついてこない。思い切って接続推進のために接続費の一部を助成したらどうだろうか。

建設部長 沖縄振興一括交付金でもって何らかの財政措置ができればいいと思いますが、なかなかお前に進めない状況であります。

町長 下水道接続率はまだまだ低い状況であります。県内の他自治体でも課題で首長の思いさんとも意見交換をしない状況であります。本県は異民族支配下の27年間、社会資本整備、インフラ整備が遅れたことによる今日的な沖縄特有の課題だという捉え方をすれば沖縄振興一括交付金で何かできないものか少し勉強させて戴きたいと思います。

問 ことぶきプラン２０１２高齢者保健福祉計画で認知症対策推進を重点事項として取り組むとしている。取り組みの内容は、

福祉部長 一点目に、認知症を正しく理解してもらうために正しい情報誌に掲載し、パンフレット配付を行い知識の普及啓発を図る。二点目に脳血管性認知症等の原因となる点の予防に取り組む。三点目に、認知症に関する地域の相談窓口の周知を図る。四点目に、一般町民を対象に認知症サポーターの養成を継続する。五点目に、GPSを利用した徘徊高齢者家族支援事業等家族介護者を支援するサービスについてニーズを踏まえ検討を行なう。

問 認知症対応型共同生活介護のために一ケ所施設整備を図るとしている。具体的な内容は。

福祉部長 開設に向けて、平成24年度から具体的な検討を進め、委託先の募集を行ない、定員一ユニット９名を予定した地域密着型グループホームを平成年度に一ケ所増設する予定であります。

下水道工事（小波津団地）

◇欠陥オスプレイの配備に反対を！！
◇子育て支援の充実を
◇「歴史散歩」の発刊を

伊礼一美　議員

問 6月13日、防衛省がオスプレイ配備の米軍報告書を県に提出して、安全を叫んだ翌日の6月14日に米国でのオスプレイ墜落事故が発生した。爆音のない静かな西原を取り戻すために、最も危険な欠陥機オスプレイの普天間飛行場への配備に反対すべきでは。

また、県が平成23年度に実施した西原町における米軍基地航空機騒音実態調査の結果について伺うとなっているのか。

町長 オスプレイはこれまでもたびたび事故を起こしている。今年の4月11日にもアフリカの北部のモロッコで合同演習の最中で墜落一定の乗員数は2人が死亡、2人の重傷事故が起きたばかりだ。その後6月14日にアメリカ本国でも墜落事故を起こしている。安全が十分確認できないオスプレイを普天間飛行場に配備することは認められない。断固反対すれば。

総務部長 嘉手納飛行場及び普天間飛行場周辺の30地点のうち、本町では坂田小学校と西原東中学校の2地点を実施している。騒音レベルを示すうるささ指数であるWECPNLは、いずれも住宅の環境基準値70以内、それから地域類型指定法定の目安65以内という結果である。近隣の中城・上原ではWECPNL71を記録し、環境基準を超過しており、本町上原地区等でも何らかの影響があるのでは。

問 潜在的待機児童数は何名か。また、国が進めている新保育システムは父母の期待にこたえられるか、見通しについて伺う。

福祉部長 認可保育所に入れない児童47名を潜在的待機児童と捉えている。新システムについては、現行の国、地方公共団体、学校法人、社会福祉法人に加え株式会社、NPO法人など多様な業者が施設を設置できるようになる。そこあたりがうまく行き、量的な拡大が図られれば、ある一定の待機児童の解消につながるので父母の期待にこたえられるのではないか。

また、国と保護者との直接契約や保育料の徴収という面では、各社会福祉法人において反発があるということも聞いている。

問 梅の香り歌碑、内間御殿、ベリーの野外キャンプ跡、幸地グスク、歴史の道、棚原グスク、千原のチブ川などを仮称「歴史散歩」として発刊する考えは。

教育部長 検討してみる。

オスプレイ（米海軍公式ＨＰから）

◇若者の投票立会人の公募を
◇みどりのカーテン
◇緊急医療情報キット

長浜ひろみ　議員

問 超高齢社会が進展する中で、年金や医療等の社会保障政策が重要政治テーマに浮上する一方、将来を担う若者の投票率は低調であります。

若者の声が届きにくい政治であってはならない。

若者と高齢者の現状を踏まえて、社会保障制度の持続可能性を高めるためには、何が必要か。

若者と高齢者の差は歴然としております。総務省によりますと、２０１０年の参議員選挙で、年齢別投票率は20歳から24歳約34％で最も低く65歳から69歳約78％で最も高くなっております。試みに同年の国勢調査をもとに投票人数を計算してみると、20歳から24歳は全国で２０８万人、65歳から69歳は６３８万人となっており、投票人数は3倍以上の開きがあったようです。

国立社会保障人口問題研究所によりますと、高齢者の人口が増え続ける一方で若者の投票率が低いままでは若者の意見が反映されにくい。こうした実態を踏まえて西原町では投票アップの取り組みに投票立会人の若者の公募について。

選挙管理委員会事務局長 投票立会人の若者の公募は現在行っておりません。

今後選挙管理委員会で話し合いたいと思います。

４年前の県議選の投票率は20代13％、30代約17％、40代約16％、70代10％、80代約４％、一番高いのが50代です。

問 猛暑の熱中症対策やひとりぼっかでできる対策として、緑のカーテンの公共施設や、一般家庭への呼びかけ、苗や種の無料配布の取り組み、コンテスト等の収穫イベントなど、楽しみながらの取り組みについて。

総務部長 緑のカーテンの推進について、当初事業計画で特に予定はなく６月半ば過ぎ、これから取り組んで緑のカーテンの効果がどういう図っていけるのか厳しい。しかし効果について話は聞いているので何らかの形で啓発できればなこいう感はします。

問 緊急医療情報キットについてこれまでもたくさんあったが、何度かお取り上げましたが、モデルケース実施も考えられると思いますが。

産業課長 町では緊急医療情報キットの必要性を念頭に入れながら、本人または地域で支える方々がその意義を理解した上で、モデル地区を選定して推進していくことを考えております。

緑のカーテン（町内）